

エジプト国新ダイルート堰群建設事業 施工管理業務の契約を締結しました

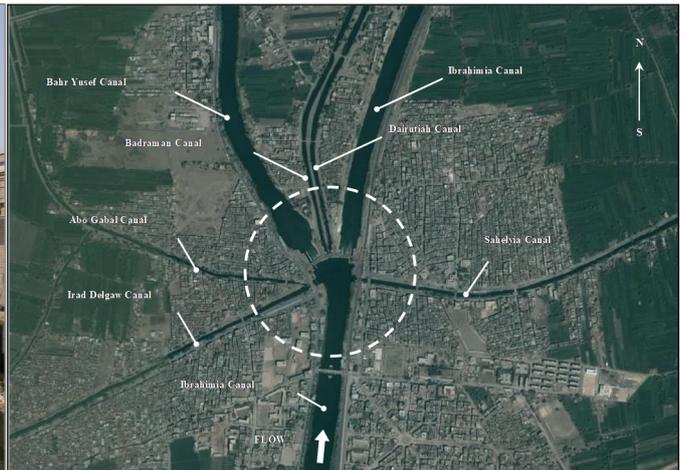
当社は、本邦技術活用型円借款による「エジプト国新ダイルート堰群建設事業」に関し、2018年10月17日、施主であるエジプト国水資源灌漑省と当該事業の施工管理に係る業務契約を締結いたしました。契約書への署名式は、施主が主催する国際コンファレンス、“Cairo Water Week”のイベントとして、盛大に執り行われました。

ダイルート堰群は、上エジプト地域の60万haに及ぶ農地に灌漑用水を供給するシステムの要にある水利施設です。ナイル川から取水された用水を、7つもの幹線水路に分水するというユニークな構造を持つ施設でもあります。この受益農地からは、毎年170万トンの小麦と220万トンのトウモロコシ、そして様々な農産物が生産され、エジプト国の食料供給を支えています。

ダイルート堰群は、アスワンダムが建造される30年も前、1872年に建造された歴史的な施設であり、大規模な改修を行っていない、エジプト現役最古の水利施設でもあります。この建造物は、歴史的モニュメントとして保存され、現堰群の下流側に、最新の技術を導入した新しい堰群を建設する予定です。



ダイルート堰群（上流側より望む）



7つの幹線水路に分水するダイルート堰群

我が国は、上エジプトの基幹用水路であるバハルユセフ灌漑用水路に設置されている4つの堰（ラフーン堰、マゾーラ堰、サコーラ堰およびダハブ堰）を1997年から2010年にかけて、無償資金協力で改修を行ってきました。当社はこのバハルユセフ灌漑用水路改善のフィージビリティ調査（1992年）から当該4堰の改修事業の設計・施工管理に携わってきました。ダイルート堰群の改修は、この一連のバハルユセフ灌漑用水路改善の終着点であり、当社としてもメモリアル事業と位置付けられます。

署名式においては、水資源灌漑副大臣をはじめとする施主要人および当社社長がスピーチを行い、事業概要を動画などで紹介した後、在エジプト国日本国大使館及びJICAエジプト事務所要人と約50名の観衆が見守る中、施主側の貯水池及び大堰局局長と当社社長の間で契約書署名が交わされました。

新ダイルート堰群建設事業は、2024年の工期完了に向けてスタートを切ったところです。当社は、1975年から1985年に実施された「大カイロ都市圏都市用水開発計画事業」に従事して以来、今日までエジプト国の水資源・灌漑・農業セクターの開発業務に継続的に従事してまいりました。当社の長年のエジプト国での経験、また他国での経験も活かしつつ、完工まで鋭意業務を進めてまいります。



国際コンファレンス、Cairo Water Week のイベントとして契約署名式が執り行われました。



契約署名式では、新ダイルート堰群事業の概要について、施主からプレゼンテーションがなされました。



水資源灌漑省副大臣（着席者中央）等につき、スピーチを行う当社久野社長（着席者右端）



契約書に署名する水資源灌漑省貯水池及び大堰局 Ashraf 局長と当社久野社長



署名を終え握手を交わし、会場から盛大な拍手が沸きました。



水資源灌漑省関係者と記念写真。JICA エジプト事務所岩崎次長（後列右から5人目）も列席頂きました。

当社のエジプト国における業務実績

年	案件名
1975-85	大カイロ都市圏都市用水開発計画・事業
1990-92	バハルユセフ灌漑用水路 F/S
1994-97	バハルユセフ灌漑用水路ラフーン堰改修事業
1998-2002	バハルユセフ灌漑用水路マゾーラ堰改修事業
2003-06	バハルユセフ灌漑用水路サコーラ堰改修事業
2007-10	バハルユセフ灌漑用水路ダハブ堰改修事業
2009-10	ダイルート堰群改修事業 F/S
2015-17	ダイルート堰群改修事業詳細設計
2018-24	新ダイルート堰群建設事業（施工管理）
1990-2009	第1次～第4次上エジプト灌漑施設改修事業 （フローティングポンプ改修）
1993-94	オモウム農村地域排水改良計画
1993-98	アミリア浄水場施設改修計画
1996-2000	北東シナイ地区総合農業開発事業(F/S, D/D)
1998-99	中央デルタ農村地域水環境改善計画調査
2012-2016	中央デルタ灌漑のための排水水質管理再利用 M/P
2006-08	ダマンフル農業機械化センター近代化計画
2010-12	農産物流通改善を通じた上エジプト農村振興 M/P
2014-19	小規模農家の市場志向型農業改善プロジェクト

三祐コンサルタンツのエジプトでの主な従事プロジェクト

